

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年 8月 30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	藤木企業株式会社
所 在 地	〒231-0003 横浜市中区北仲通り 2-14
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	藤木 幸吉
担 当 者 連 絡 先	電 話：045-211-1531
	メール：ken_honda@fujikigroup.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.fujikigroup.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

藤木企業は、大正12年の創業以来、横浜港を拠点とし、輸出入貨物の取り扱いを行う港湾荷役事業を中心に港湾産業の近代化と共に港湾物流分野における幅広い事業を展開しています。約100年にわたる伝統の技術と実績を礎に、新たな価値を融合した港湾物流サービスを提供する企業としてあゆみ続けています。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	事故防止を徹底し、時間・物資のロスをなくす。安全で安心して働ける職場環境維持、発展させる。	・ 事故ゼロを目指す。 ・ 毎月及び、年3回の安全会議実施の継続。
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	清掃活動への参加継続。	・ 日本列島グリーン大作戦等への参加継続。
☐ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済		

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・職場におけるハラスメントの防止に関する規定を策定済					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法改定への対応 ・時間外労働の週ごとの管理								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・毎月1回各事業場において安全衛生会議を開催 ・年3回全体での中央安全衛生会議を開催、優良事業者、事業所の表彰実施			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・各事業所管理者を相談窓口として設置 ・年1回のストレスチェック診断の実施			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・育児介護制度の時間短縮期間を小学校就学まで延長					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している					4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・作業従事者は年2回の健康診断の実施 ・再検者への通達と再検指導実施			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・再生可能資源ゴミの分別実施 ・産業廃棄物許可業者の使用											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9				6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・「安全」に「安全」を重ねた「安安全全」を企業理念とし、年間、上期、下期、毎月の各スローガンを策定、実施			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・各事業所近辺においての定期的な清掃活動実施 ・年1回「日本列島クリーン大作戦」への参加をし、地域の清掃活動実施				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・「安全」な作業がSDGsへ繋がる事を、社員に周知・共有している								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																	16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・自然災害に対するBCP策定済									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

令和 6 年 9 月 10 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	〒231-0003 横浜市中区北仲通り 2-14
名称：	藤木企業株式会社
代表者：	藤木 幸吉
登録年月日：	令和 5 年 9 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	事故防止を徹底し、時間・物資のロスをなくす。安全で安心して働ける職場環境維持、発展させる。	・ 事故ゼロを目指す。 ・ 毎月及び、年 3 回の安全会議実施の継続。	・ 登録後 1 年間の事故件数前年対比 -2 件。(-16.7%) ・ 各部署会議は毎月実施、全社安全会議は 2023/11、2024/3、2024/6 実施済み。
✓環境 □社会 □経済	清掃活動への参加継続。	・ 日本列島クリーン大作戦等への参加継続。	・ 2023/10 日本列島クリーン大作戦参加。
□環境 □社会 □経済			

令和 7 年 1 1 月 4 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	横浜市中区北仲通 2 - 1 4
名 称：	藤木企業株式会社
代 表 者：	藤木 幸吉
登録年月日：	令和 5 年 9 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	事故防止を徹底し、時間・物資のロスをなくす。安全で安心して働ける職場環境維持、発展させる。	・ 事故ゼロを目指す ・ 毎月及び、年 3 回の安全会議実施の継続	・ 登録後 1 年間の事故件数 前年対比-3 件 (-30.0%) ・ 各部署会議は毎月実施 全社安全会議は 2024 年 11 月 2025 年 3 月、6 月に実施済。
✓環境 □社会 □経済	清掃活動への参加継続	・ 「小さな親切」運動 神奈川県本部 主催 日本列島クリーン大作戦への参加継続	・ 2024 年 10 月 ・ 2025 年 10 月 左記、行事参加
□環境 □社会 □経済			